



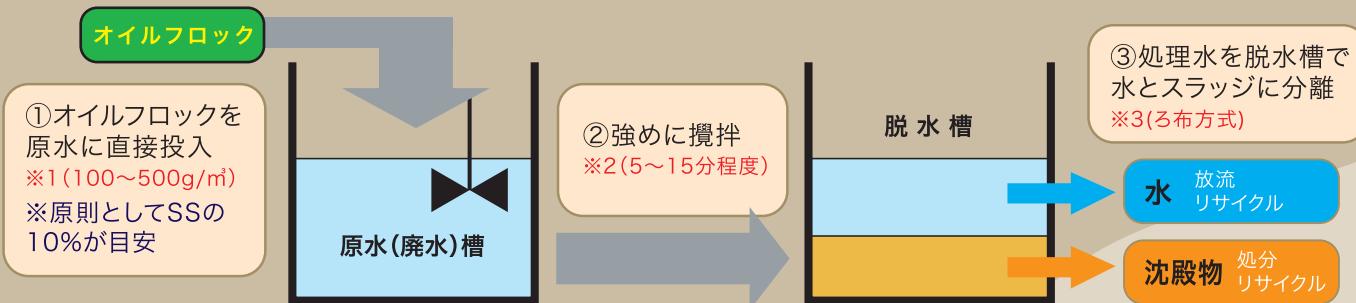
無機系凝集剤 オイルフロック

オイルフロックの

特徴

- ① (1剤・1工程)により、工程、設備が簡素化される ※複数工程の場合もあり
- ② 酸性～アルカリ性の幅広い領域で機能を発揮し、中性域に水質改善
- ③ 水性塗料、エマルジョン化した油まじり廃水に最適！
- ④ 分離汚泥も疎水化されて脱水しやすくなり、再溶出しない汚泥を形成

使用方法と投入量



※1 投入量は、廃水の中身により異なります。
この数値は目安で、事前のピーカーテストで
投入量を決定してください。

※2 廃水の中身によって多少異なります。
廃水量が多くなっても、攪拌・反応時間は
大きく変わらないケースが多いです。

※3 基本的には、当社推奨専用ろ布での
自然脱水ですが活性炭等による他の工法もあります。

オイルフロックの種類(物性と荷姿)

項目	標準型(U-02)	カスタマイズ品
使用素材	石膏、珪藻土、硫酸アルミニウム ソーダ灰、その他	
性状	外観 比重 反応	灰色の微粉末 0.75~0.95(嵩比重) 中性
荷姿	●20kgダンボール箱(10kg×2袋)	
処理事例	・シリコン廃水 ・生インク廃水 ・油エマルジョン廃水 ・水溶性切削廃水 など	・鉄鋼関連廃水 ・自動車塗料廃水 ・土木・建築工事廃水 ・酸性廃水 ・有機物廃水 ・強アルカリ脱脂廃水 など

オイルフロックでの凝集廃水例



シリコン研磨廃水



生インク廃水



油エマルジョン廃水



水溶性切削廃水



強アルカリ脱脂廃水

各種データ

◆オイルフロックで処理した水のデータ事例（第三者機関による検体試験結果）

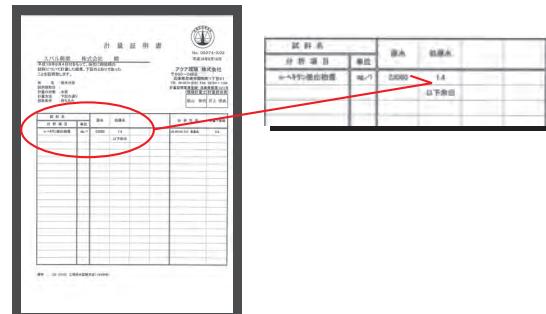
項目	単位	事例 1		事例 2		事例 3	
		原水	処理水	原水	処理水	原水	処理水
浮遊物質量	mg/L	42	3	3100	ND(1未満)	—	—
pH		7.6	8.1	7.1	7.6	—	—
COD	mg/L	28	17	18000	49	—	—
BOD	mg/L	18	12	930	22	—	—
ノルマルヘキサン	mg/L	8.8	1.2	3	ND(1未満)	—	—
鉛	mg/L	0.083	ND(0.0005)	—	—	—	—
フッ素	mg/L	—	—	—	—	17	0.3
ホウ素	mg/L	—	—	—	—	9.1	1.4
亜鉛	mg/L	—	—	—	—	4.3	0.11
銅	mg/L	—	—	—	—	2.1	ND(<0.05)

油まじりの廃水が
こんなにきれいに！

n-ヘキサン抽出物質含有量(鉱油類含有量)
(処理前) 23000mg/L

(処理後) 1.4mg/L

※基準値(5mg/L以下)



試験項目	測定値
n-ヘキサン抽出物質含有量	1.4

◆オイルフロック自体の安全性（第三者機関による有害物質溶出試験結果）

	項目	単位	計量結果	定量下限値	計量方法
1	カドミウム又は化合物	mg/L	ND	0.001	JIS K 0102 55.4
2	シアン化合物	mg/L	ND	0.1	JIS K 0102 38.1.2-38.3
3	鉛又はその化合物	mg/L	ND	0.005	JIS K 0102 54.4
4	六価クロム化合物	mg/L	ND	0.02	JIS K 0102 65.2.1
5	ひ素又はその化合物	mg/L	ND	0.001	JIS K 0102 61.3
6	水銀又はその化合物	mg/L	ND	0.0005	環境庁告示第59号付表1
7	有機りん化合物	mg/L	ND	0.1	環境庁告示第63号付表1
8	銅又はその化合物	mg/L	ND	0.01	JIS K 0102 52.5
9	亜鉛又はその化合物	mg/L	ND	0.01	JIS K 0102 53.4
10	マンガン	mg/L	ND	0.01	JIS K 0102 56.4

※オイルフロックを精製水に溶かした場合、有害物質10項目は検出されませんでした。また、社内実験において「めだか」をオイルフロック処理水に投入し、"48時間以上"の健全な生存を確認しております。

産廃の減容化・環境負荷軽減に貢献

事例：自動車修理工場の油水分離槽の清掃



油まじりの廃水(10m³)

↓
油まじりの固形分(50L)

99.5%
減容化

お問い合わせ

製造・販売元 スバルケミコ株式会社

■杉並営業所

〒168-0081 東京都杉並区宮前5-15-21
TEL:03-5941-6431 FAX:03-5941-6432

取扱店